

2025年3月28日
マクセル株式会社

脱炭素社会の達成をめざし、SBT 認定取得に向けたコミットメントレターを提出

マクセル株式会社(取締役社長:中村 啓次/以下、マクセル)は、サプライチェーン全体での温室効果ガス(以下、GHG)排出削減を推進するため、パリ協定が定める水準に整合する温室効果ガス(GHG)排出削減目標「Science Based Targets(SBT)」の認定取得をめざし、認定機関である SBT イニシアチブ(以下、SBTi)へコミットメントレターを提出しました。

コミットメントレターとは、企業が GHG 削減目標を設定し、その目標を国際的気候変動イニシアチブである SBTi に 2 年以内の認定をめざすことを表明するものです。SBTi では企業が掲げる温室効果ガスの削減目標がパリ協定の「世界の平均気温上昇を産業革命前と比べて 1.5°C に抑える」という目標達成に必要な水準を満たす場合、その削減目標を「科学的根拠に基づいた目標(SBT)」として認定しています。

マクセルでは、2030 年度以降の目標に対する認定取得に向けて提出したコミットメントレターに基づき、2 年以内に SBT の認定取得をめざします。

「コーポレートサステナビリティビジョン」のもと、マクセルグループは、事業活動を通じて、人と社会と自然の共生を推進しています。また、脱炭素社会の達成へ向けても、2023 年 7 月には、環境ビジョンを制定し、2030 年度 CO₂ 排出量 50%以上削減(2013 年度比)に加え、カーボンニュートラルの達成を 2050 年度目標として設定しています。

環境ビジョンの 2030 年度目標の対象は国内の Scope1、2 ですが、海外および Scope3 の削減目標を設定することで活動を加速していきます。

今後も持続可能な社会の実現に向けた取り組みを強化し、すべてのステークホルダーの皆さまに「最高の価値(Maximum Excellence)」を提供し続け、「未来の中に、いつもいる」企業をめざし、サステナブルな経営に取り組んでいきます。

■マクセルのサステナビリティの取り組み

<https://www.maxell.co.jp/sustainability/>

■商標

記載されている名称、ロゴ、サービスマークは、マクセルまたは他社の登録商標もしくは商標です。

■サステナビリティに関するお問い合わせ先

マクセル株式会社 サステナビリティ推進本部

お問い合わせフォーム:<https://maxell.tayori.com/f/tayori-03/>

以上

ニュースリリース、お知らせに記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日時点のものです。
予告なしに変更され、発表日と情報が異なる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
